

令和4年度 地理歴史 科
 教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
X世界史B	世界史B	3	C D F	4	必修選択	140 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義、演習
教科書	世界史B，東京書籍
使用教材等	グローバルワイド 最新世界史図表，第一学習社 東書の世界史B 入試対策問題集，東京書籍 大学受験必携 世界史用語集，東京書籍 世界史重要語句Check List，啓隆社

科目の目標・内容等

学習目標	大学受験に向けた世界史Bの知識・理解や歴史的な見方・考え方を身に付け、演習を通じて問題を解く力を身に付ける。
学習における留意点	授業と個人学習を大切にする。常に問題意識をもち、疑問を解消しようとする学習姿勢を維持する。
予習・復習	教科書や資料集、用語集を使って基本の流れや理解を得たのち、問題集等を使って繰り返し学習して、知識の定着を図るよい。疑問点を図書室の本等を使って調べるとより理
評価方法	定期考査・提出物・平常点(授業態度等) 等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	辛亥革命 第一次世界大戦 オリエント世界とローマ アジアの古代文明(上記 範囲と同時学習) 問題演習	二つの大戦の背景・特徴・影響を、現代との繋がりを踏まえて理解する。 冷戦の背景・特徴・影響を、様々な国と地域の視点を踏まえて理解する。 ローマ帝国による地中海文明権の成立とキリスト教の誕生と発展 東アジアの中華文明と内陸アジアの遊牧国家の成立と発展	基本的な歴史用語と出来事とを理解しており、現代史を大きく捉えることができる。 それぞれの文明圏の成立過程と特徴を理解する。
2	1学期の続き イスラム世界の形成と発展 西欧世界の成立 大学入試問題演習	1学期の続き イスラム世界の成立のその拡大 西ヨーロッパにおける封建社会の成立とその解体 問題演習を通じた総合的学力の養成	1学期の続き それぞれの文明圏の成立過程と特徴を理解する。 問題を理解し、解くことができる。知識を自ら補うことができる。
3	大学入試問題演習	問題演習を通じた総合的学力の養成	問題を理解し、解くことができる。知識を自ら補うことができる。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。